

ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医育成への挑戦 ～

第98回 家庭医塾10年生の想い

診療部 石井 敦



福島県立医科大学 医学部 地域・家庭医療学講座では、福島県内の医療機関と協力して、すでに地域で医療を実践されている先生方を対象にセミナー形式の家庭医療生涯教育プログラムを開講しています。かしま病院も協力医療機関の一つとして、2007年度から家庭医療セミナーinいわき「実践家庭医塾」を、コミュニティーホールを主な会場として月1回程度継続開催しています。開講初期の実践家庭医塾は、家庭医を特徴づける能力（患者中心の医療、家族志向ケア、地域包括プライマリ・ケア、健康問題の心理・社会的アプローチ、共感できる人間関係の維持・強化）に関する基礎知識と基本スキルを身に付けるための講義が主でしたが、最近では、一方向性の講義だけでなく、発表者が実際に経験した患者さんのケアの実例を通して、より良いケアを提供するための、より実践的な方法の紹介や双方向性の議論が展開されています。

2018年3月の家庭医塾の演題は、当塾に10年間通い続けてくださっている生え抜きの塾生である小坂博美先生（おざかクリニック）による特別講演「家庭医塾10年生の想い」でした。外科医としてがん告知や終末期ケアなどの臨床現場での苦悩を経て、開業された後もプライマリ・ケアの現場での暗中模索の日々……。そんな中、出逢った家庭医療の実践を試みる過程でのご自身の診療の質の変化・行動変容について、客観的に分析された結果を提示してございま

した。家庭医塾入塾直後の戸惑い→視野の拡大→系統化による実践→ケアの分析と普遍化作業の重要性の理解→ひとりの開業医から“かかりつけ医”へのステップアップ……。患者中心の医療の方法を深く学び実践されてきた10年間の軌跡と熟成された想いを熱く語っていただきました。家庭医塾の準備段階から関わらせていただいている身としては、家庭医塾の成果を塾生側からお示しいただけたことが何より嬉しいひと時となりました。

過去の実践家庭医塾受講者のうち開業医師22名を対象としたアンケートでは、家庭医塾で取り上げて欲しい内容（複数回答可）として、日常診療のノウハウ 77.3%、スキルアップを図れるもの 63.6%、これからの家庭医療について 59.1%、患者中心の医療について 50.0%、すぐに使える診断ツール 45.5%、良くある症例・見落としがちな症例などの診断及び読影法 31.8%、家族志向ケアについて 31.8%、効率的なケアについて 27.3%、コミュニケーション技法 27.3%、最新の医療情報 27.3%、不得意な診療科目の各論 27.3%、持ち寄りによる症例検討 18.2%、臨床教育について 18.2% など、家庭医療実践のために重要なスキルの修得へのニーズの高さがうかがわれました。セミナーの継続的開催が、地域住民と地域で働く医師との強固な信頼関係の構築につながり、いわき地域の医療の質の向上に寄与することを目指して活動を続けてまいりたいと思います。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



リハビリテーションとは

今月号ではリハビリテーションとは何かということについて総論的な観点から説明していきたいと思ひます。「リハビリテーション (Rehabilitation)」とはラテン語でre(再び、戻す)とhabilis(適した、ふさわしい)

という2つの言葉から成り立っており、直訳すると「再び適した状態に戻す」という意味になります。つまり、身体的な機能を回復する訓練ばかり行うのではなく、その方が歩んできた人生を理解し、「人間らしく生きる」「自分らしく生きる」ための訓練を提供することが本来の目的であるということになります。そのため、着替えやトイレ、食事など日常生活を送る上で行っているすべての活動がリハビリテーションの対象となっています。リハビリテーションを提供するのは医療機関だけではなく、退院し

た後の生活を支えるために通所リハビリ、訪問リハビリなど病院外の福祉施設などにおいても提供され、自立支援を後押ししています。また、リハビリテーションの職種には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3つの職種があり、お互いに連携を取りながら元の生活を取り戻すという目標をリハビリテーションを行っています。生活上の活動すべてがリハビリテーションの対象となると述べたように、患者様の入院生活においてはリハビリテーション職種だけがリハビリに関わるのではなく医師や看護師、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど様々な職種が関わって、リハビリの効果があがるようにチームで支えています。その中で次号ではリハビリテーション職種についてより詳しく説明していきたいと思ひます。

作業療法士 遠藤 蒼



かしま荘通信

誕生会

3/14(水)



3月は、2名の利用者様が誕生日を迎えられ、施設長よりお祝いの言葉と花束が贈られました。

今回は、如水会様に慰問いただき、相馬、いわき、会津など県内の民謡を聴かせていただきました。三味線や尺八、篠笛などの伴奏と門馬妙子先生はじめ会員の方々の歌声に会場の皆様も聴き入っていました。

イベント開催予定のお知らせ

糖尿病教室	時間 10:00~10:30 会場 かしま病院外来棟会議室	・4月休み ・5月2日(水) ・6月6日(水)
家庭医療セミナー ～実践家庭医塾～	時間 19:00~20:00 会場 かしま病院コミュニティーホール	・4月19日(木) ・5月17日(木)
ゆる体操教室	時間 1回目 13:30~14:30 2回目 15:00~16:00 会場 かしま病院コミュニティーホール	・4月21日(土) ・5月12日(土)
乳がん患者のつどい アイリスの会	時間 14:00~15:30 会場 かしま病院コミュニティーホール	・4月18日(水) ・5月16日(水) ・6月20日(水)
認定看護師による 勉強会	時間 14:00~15:30 会場 かしま病院コミュニティーホール	・5月16日(水)

興味のある方は、お問い合わせください。